

石岡市りんりんタウン構想（案）に係るパブリックコメント募集結果について

	施策	意見	回答(案)
1	0	<p>●計画の策定趣旨 記述から策定理由と方向性について、つぎのように読み取れます。</p> <p>○策定理由 国が策定した「自転車活用推進法」と 地域資源の活用とまちづくりの課題は同一の方向性</p> <p>○方向性 自転車を新たな交通手段として活用を推進 加えて茨城県では、当構想案に関連計画として示されているとおり「いばらき自転車活用推進計画」を進めており霞ヶ浦とりんりんロードを中心に環境整備に取り組んでいます。 石岡市の構想も、県の計画との連携を重視して行えば、より効果的と考えられるため ☆策定理由に県の事業との関連性も記してはどうでしょう。 「自転車活用推進法」が策定され、…茨城県では「いばらき自転車活用推進計画」を進めている。石岡市においても、これらと同一の方向性。 ☆構想には、観光と健康スポーツを通じた地域の活性化への取り組みも含まれています。 策定趣旨の方向性にも、明記すべきだと考えます。…交通手段としての自転車利用の推進をはかるとともに、観光および健康スポーツを通じた地域の活性化をめざす。</p>	<p>構想内に反映いたします。</p>
2	0	<p>●自転車活用状況調査大変興味深い調査でした。サンプル抽出の方法と調査項目が示されていない点が気になります。 ☆各調査対象について、つぎの点の記載を求めます。</p> <p>①市民アンケート調査・アンケート対象者抽出の方法・高校生は市内公立高校1年生全員？ ②サイクリストアンケート調査・アンケート対象者抽出の方法・現地手渡しの場合は配布の場所および時間 ③小・中学生アンケート調査・石岡地区・八郷地区の各2校とは？石岡地区の小学校2校・中学校2校＋八郷地区の小学校2校・中学校2校？石岡地区の小学校1校・中学校1校＋八郷地区の小学校1校・中学校2校？ ☆各アンケートについて調査項目の概略を記載してください。</p>	<p>構想内に参考資料として追加記載及び調査項目の概略を記載いたします。</p>

3	0	<p>◎自転車フレンドリーなまち” いしおか” に向けて サイクリストへのアピールで重要なのは、まちの雰囲気です。緑の山を眺め、丘を越えて走るコースは欧州を彷彿とされる、とサイクリストに評される石岡エリア。 加えて、「お店に入ればサイクリストに声をかけてくれる」「車の人から応援された」といった、自転車にやさしい雰囲気が醸成できれば、走る人はもっと増えます。 コース沿いの飲食店にサイクリスト向けサービスメニューをつくってもらうとか、コンビニ数店を巡るとドリンク1本サービスとか、市内の多くの人が協力するような仕掛けに予算を割いて、少しずつ、自転車フレンドリーが浸透すればと思います。 すぐに大きな成果は難しいですが、10年、20年後に目標を置いて、継続して事業が進められれば、関東のサイクリストのメッカになるのも決して夢ではありません。</p>	<p>長期的な視点で、市の自転車活用推進に向け効果的な施策展開を図ってまいります。</p>
4	1	<p>路線バス等との連携 (1) 石岡駅からの「BRT」路線の活用 ・場所により道路幅の拡張 ・小川、鉾田方面及び霞ヶ浦りんりんロードへの誘致 ・サイクリストの安全の確保</p>	<p>交通規制や事業費、事業者間との調整が必要となる等、課題を明確にし、検証したうえで検討を進めてまいります。</p>
5	1	<p>石岡駅前の駐輪場についての言及がありません。高校生や通勤者が一層安心して駐輪できるよう、駅前各駐輪場には、例示写真の東田中屋根つき駐輪場のようなチェーン鍵を掛けられる横棒を持つ屋根を設置すべきかと考えます。</p>	<p>サイクルポートの設置検討において、石岡駅前駐輪場についても併せて検討を進めてまいります。</p>
6	2	<p>1 恋瀬川サイクリングコースを使いやすくする。 (1) 道路が舗装されていないところがある。すべて舗装する。 (3) 休憩所のトイレをきれいにする。定期的に掃除をする。 (4) 休憩所のベンチを新しいものと取り換える。 (5) 霞ヶ浦でつくばかすみがうらりんりんロードと接しているのだから、連携をする。もしくは、恋瀬川サイクリングコースもりんりんロードに含めてしまう。</p>	<p>恋瀬川サイクリングコースの利便性向上につきましては、市としても重要なものであると認識しております。 また、いばらき自転車ネットワーク計画におきましては、その一部区間が整備を検討する路線として位置付けられており、石岡市自転車ネットワーク計画におきましても、同様に検討する路線の1つとして位置付けていることから、利便性の向上に向けて取組んでまいります。</p>
7	2	<p>(2) 朝日トンネルに自転車道路の確保 ・つくばりんりんロードへの誘致 ・山越え（峠）をしないでの往来 ・サイクリング対象者の拡大</p>	<p>道路幅員等を勘察し、検証したうえで検討を進めてまいります。</p>
8	2	<p>土浦—岩瀬駅間、柿岡—高浜間の恋瀬川沿い、フルーツライン等とのリンク（そのための整備）</p>	<p>ネットワーク計画において検討を進めてまいります。</p>

9	2	<p>歩道上に歩行者の多い都市においては、歩道上での歩行者対自転車の事故が問題となり、自転車レーンの走行が基本ルールとして周知されるようになりました。</p> <p>しかし、自動車のスピードが速く、歩道に歩行者の少ない地方においては、日常の足としての自転車にとっては自転車通行可の歩道のほうが安心できる道も多いです。</p> <p>石岡市街地においては、自転車レーンを設けるか、自転車通行可の歩道にするのか道路や通行の事情に応じて、ルートごとに十分な検討を求めます。</p> <p>※ただし、観光としてのスポーツ自転車の走行環境については、市内においては歩道ではなく、道路左側に設ける一方通行の自転車レーンの整備とすべきです。</p>	<p>具体的な整備にあたっては、ルート毎に検討を進めてまいります。</p>
10	2	<p>通学の観点からは、園部～羽鳥駅の県道 278 号線を整備路線に加えるべきです。</p> <p>中学生、高校生の自転車通学が多く、道幅が狭いうえ、通勤通学時間帯の車は 60～70km で走っているのが実情。過去に自転車の死亡事故も起きています。</p> <p>中学校 PTA でも自転車が安全に走れる空間の確保を求めています、進みません。</p> <p>路面に矢羽・注意喚起表示を施すだけでも、車の速度抑制には効果的だと考えます。</p>	<p>ネットワーク計画については、整備の進捗状況や近隣の道路整備状況等を勘案し見直しを図っていくこととしていることから、位置づけについては今後検討を進めてまいります。</p>
11	2	<p>①フルーツラインの左右路側に自転車走行レーンを路面標示が理想「自転車と車が共生する道」をアピールする工夫を石岡市を代表するサイクリングルートはフルーツラインです。まずはここを核にルートをネットワーク化するとよいと思います。レーンにはロードバイクが安心して走れる幅が必要ですが、路側での確保が難しければ、矢羽と標識を効果的に用いて「自転車と車が共生する道」であるとサイクリストとドライバーにアピールできればよいと考えます。</p>	<p>フルーツラインはサイクリストが多く走る路線の1つであると認識しておりますので、優先的に検討を進めてまいります。</p>
12	2	<p>②恋瀬川サイクリングコースは整備後のメンテナンスが重要</p> <p>現状の恋瀬川サイクリングコースは路面状況も悪く、寂しいルートで、誰にでもお勧めできる状態ではありません。が、県が進める霞ヶ浦ルートとの接続では重要なコースです。</p> <p>ただし、自転車専用道は整備後のメンテナンスがカギになります。</p> <p>全国の多くの自転車専用道は、つくっただけで利用されていませんが、砂が浮いたり、草が生い茂ってしまったり、「荒れて」いるのは、足が遠のく大きな原因です。</p> <p>整備がよいと評判のつくばりんりんロードは県道です。只今売り出し中で、徐々に認知度を上げている霞ヶ浦1周ルートも県の肝煎りです。恋瀬川についても、県と一体となってルート整備し、維持管理システムを構築しておくのが重要です。</p>	<p>ご意見のとおり、つくば霞ヶ浦りんりんロードとの接続において重要なコースであることから、市としても充実を図ってまいります。</p> <p>かすみがうら市と連携して管理運用がなされていることから、積極的な事業展開を推進してまいります。</p>

1 3	2	③不動峠への道の整備&自転車関連標識の設置 不動峠のつくば市側は、東関東のサイクリストのパーマントコースです。つくば市方面から多くのサイクリストは不動峠を越えて石岡市に入っています。ただし石岡市側は「裏不動」と呼ばれ、路面状況も悪くウェットなうえ見通しも悪く、ビギナーには難しいルートだとされています。この区間の路面整備、山林整備を進めるとともに、車と自転車双方への注意喚起標識（フレンドリーな表記で）の設置などを行って、走りやすさをアピールできればサイクリストに好評を得られるはずです。	自転車ネットワーク計画において、より安全な走行環境が提供できるよう検討を進めてまいります。
1 4	3	(3) フルーツライン等の道路沿いに在る「そば」店舗及びコンビニへサイクルラックの設置 ・サイクリストの誘致 ・サイクル掲示板の設置	アンケート調査結果において、フルーツライン沿いは多くのサイクリストが見受けられたことから、サイクリスト受け入れ環境を向上するため、効果的な施策展開を積極的に図ってまいります。
1 5	3	④サイクリストの駐車場利用可をPR 自走以外で訪れるサイクリストは鉄道利用は少数派。多くは車を利用しています。長時間止め置ける無料駐車場を求めています、大手を振って止められる場所は少なく、「まあいいだろう」という感覚の駐車場を探して停めています。 サイクリストの駐車歓迎を掲げる駐車場をPRできれば、サイクリストは集まります。サイクリストフレンドリーなまちをPRするうえでは、新たに駐車場をつくるより直売所や温泉など、既存スペースの協力が得られるほうがよく、帰りに土産を買って帰ってもらうなど経済効果も期待できます。	民間事業者等とも連携し、サイクリストの利便性向上を図ってまいります。
1 6	4	(3) 石岡市に初心者や高齢者も参加できる自転車サークルを作る。	自転車サークルにつきましては、初心者や高齢者も参加できる市が主体となったサイクルクラブの設立について取組んでまいります。

1 7	4	<p>サイクリングクラブは健康づくりだけでなく、学校教育との連携や観光面など、当構想を進めるにあたって重要な担い手になると考えます。暮らし面の構想だけでなく、全体にかかわる施策としてサイクリングクラブの育成支援を求めます。※詳しくは観光分野に記します。</p>	<p>自転車が市民にとってより身近な存在となるよう、サイクリングクラブの設立運営支援に取り組んでまいります。そのためには、民間事業者や市民等からの理解が得られるよう、積極的な施策展開を図ってまいります。</p>
1 8	4	<p>◎サイクリングクラブの設立支援        イベントとしては、「ツールドつくば」は、不動峠を経て最高◎サイクリングクラブの設立支援        イベントとしては、「ツールドつくば」は、不動峠を経て最高点をめざすという、魅力度の高いコースとなっています。市内でこれを上回るコースをつくるのは難しいと考えます。ならば規模な大会よりも、むしろ地元サイクリストがガイドする少人数のツアーや、峠道の数キロを通行止めにして開くヒルクライム記録会などを年に何度か小刻みに開催するのも一案です。        その担い手となるのがサイクリングクラブです。点をめざすという、魅力度の高いコースとなっています。市内でこれを上回るコースをつくるのは難しいと考えます。ならば規模な大会よりも、むしろ地元サイクリストがガイドする少人数のツアーや、峠道の数キロを通行止めにして開くヒルクライム記録会などを年に何度か小刻みに開催するのも一案です。        その担い手となるのがサイクリングクラブです。        欧米では、各町でレースやツアーのイベントをサイクリストのクラブが運営しており、その文化は日本のサイクリストにも知られています。うまく組織して、行政と連携できれば、WEB運営なども含め、継続が重要な本構想にとって大きな力になります。</p>	
1 9	5	<p>りんりん構想を読ませていただいた。一番大切な部分の調査がないがしろになり、故に一番大切な政策が抜けている。交通ルール教育だ。市内の自転車のルール無視の運転は目に余る。ルールを守って運転している側が逆に危険だ。逆走・無灯火・一時停止無視・指示なし路線転換等々上げたらきりが無い。市街からのサイクリストが交通ルールを守っているわけではない。ロードサイクルに乗るいかにも自転車乗りにもルール無視は横行している。そんな市街からのサイクリストにたいしても、石岡の子供達や大人は手本になるようなルール・マナーを守る運転を見せられるようにする。上っ面のイベントやハード整備より重要なのは、石岡での自転車運転マナーは市街から来る人達が目を見張るような運転を出来る事。その為に、小学生教育、中学の自転車通学スタート時の指導等の子供に対する啓蒙。大人は免許更新時の自転車運転マナーの講習義務化。自転車運転マナー向上は、ひいては車やオートバイの運転マナー向上・歩行者保護に繋がるはず。</p>	<p>まず、交通ルール教育につきまして、幼少期から大人までの幅広い年齢を対象とした安全教育の実施を重点事業の一つとして位置付けております。安全安心に自転車に乗ることは自転車活用推進の土台となるものであると認識していることから、積極的な施策展開を図ってまいります。</p>

20	5	<p>イベントが失敗した反省は、ないのでしょくか？イベントの失敗の理由が理解できます。そもそもりんりんタウンとは何かの説明が不足している。地域性や市民性を無視している為、余計なお世話感がいなめない。他市町村が失敗している部分を踏襲してしまっている。つまり何もわからない状態であることが読み取れる。そもそも石岡市りんりんタウン構想の内容は、石岡市の他の計画の同様の部分に、1～2 ページ足したものにすぎない内容が乏しい仕上がりになっている。通常であれば少なくとも数十ページになるはずです。基本となる5W2Hでの組み立てが、そもそも無い。この出来上がりは、知ったつもりになった人の思い込みの代物になっていると言わざるを得ない。りんりんタウンとは、市民に対しては現状・現況で、どう自転車を利用させ、どう安心安全を構築し、安全教室やそういったもので無い、実際の安全安心状況をどう提供していくか。市外から来る人には、どう自転車お遍路状態を提供できるか。この二つが基本の骨子です。電話でも問い合わせましたが、この二つが分かっていなく、がっかりしました。</p>	<p>自転車を安全安心に利用できることは、自転車に係る様々な施策を展開していく中で土台となるものであると認識しておりますので、施策を実施していく際には、効果的な展開を図ってまいります。</p>
21	5	<p>何度か電話で伝えましたが、真意を理解できずにいるので、ストレートに伝えます。そもそも自転車の練習は、どこですのですか？不法行為や危険行為をしろというのでしょうか？この問題点触れていません。安全教室は別物ですよ。現代社会は、教える人も忙しく、教える場所も無いのですよ。電話で伝えても担当者はプライドが高いのか、無知なのか、聞く耳を持たないのか、あきれ返ります。子供目線で考えるとき、現代社会で考えるのは、どうするかです。市内のある公園で「こんなところで、ガキに練習させんじゃねえ。」という怒鳴り声を聞いたり、ケンカを目撃したのは一度や二度じゃありません。石岡市りんりんタウン構想とは、小さい子供や、乗れない人は無視ですか？この担当課、担当者は、無視なのでしょう。本来このことを考えれば大事業なのです。素案と同時に進行しなければならない事柄なのです。「ここで練習しちゃダメ。」と正しいことをする子供は、どうしたらよいのでしょうか？健全な子育てをするなというのでしょうか？直接言わなければ分からないというかもしれませんが、少しでも子供のことを考えられるならば気づきます。</p>	<p>自転車を安全安心に利用できることは、自転車に係る様々な施策を展開していく中で土台となるものであると認識しておりますので、施策を実施していく際には、効果的な展開を図ってまいります。</p>
22	5	<p>安全指導や整備点検だけでなく、ヘルメット着用や保険加入など学校との連携強化は欠かせません。また、「通学を終えたら自転車とはサヨナラ」ではなく、健康維持やレクリエーション、近場の交通手段として積極的に自転車に関わってもらえるよう、学校教育と連携ではスポーツ（体育）からの自転車視点も重要と考えます。</p>	<p>学校を含む教育関連団体等と連携を密にしながら検討を進めてまいります。</p>

2 3	6	最後に計画を立てる人は、例外なく自転車通勤を義務化させ身をもって自転車乗りの問題を理解されることを。市長は率先して自転車通勤をされることを。あなたがしなければ市民は自転車利用しませんよ。	市として自転車活用推進に取り組んでいくことから、自転車通勤の促進を庁内から働きかけてまいります。
2 4	8	(4) 恋瀬川サイクリングコースとつくば霞ヶ浦りんりんロードが繋がっていることのPR	積極的な情報発信に努めてまいります。
2 5	9	レンタサイクリストの取り込み (1) りんりんスクエア土浦及び株ラクスマリーナの活用 (2) 市サイクルショップ(自転車屋)を中継・貸出基地にする (3) 利用者は(2)に申込, 利用, サイクル車の貸出を受ける。(2)は(1)へ申し込む。 (4) マイカー利用者のために駐車場の提供, 確保, 紹介(平日を含む) ・駐車場は, 市の施設, 駅, 郵便局, コンビニ等で(2)を中心とした場所(基本, 市施設の場合は休日のみで事前申込) (5) (2)では中心となる店舗の育成, 補助	広域レンタサイクル事業を活用し, 交流人口の増加を図ってまいります。 県事業である広域レンタサイクルに関しては, 現在1市1拠点の状況が続いていることから, 市レンタサイクル事業との連携を図ってまいります。 公共交通機関だけでなく, マイカー利用者のサイクルアンドライドを推進するため駐車場の確保は非常に重要なことであるため, 拠点づくりを進めてまいります。
2 6	9	有明中学校跡地, 体育館を有効に活用して自転車文化の基地にしたいと思えます 「りんりんパーク」などの名称募集 自転車利用者, 愛好家のための種々の整備	自転車の活用を軸とした拠点形成を図る必要性はあるものと認識しております。 また, 普段自転車に乗らない方にとっても, 今後利用するにあたり交通ルールや乗り方を学ぶことができる場所の提供について検討を進めてまいります。
2 7	9	☆休憩やランチのできるカフェなど, 利用しやすい場所があれば立ち寄りを期待できる。	駐輪場の確保において積極的な設置検討を進めてまいります。
2 8	9	⑦レンタサイクルは整備とアドバイスが必須 現在, 朝日里山学校などにおかれているレンタサイクル。これを観光に本格的に取り入れるため, スポーツ系自転車や電動アシスト自転車を導入するのも一案ですが, 自転車の整備, 貸出時の各人に合わせたセッティング, コースのアドバイス, パンクなど緊急時のレスキューといったソフトの構築も欠かせません。自転車そのものより, むしろソフトが大切。ソフトがないと, いい自転車もホコリを被ります。	ハード面のみならず, ソフト面も含めた充実を図ってまいります。

29	10	2 自転車のイベントを行っていく。(1) 昨年11月の自転車天国りんりんシンポジウムはよかった。あのようなものを毎年続けていく。(2) ポタリング程度のイベントを行う、初心者や高齢者も参加できるように、30Km~40Km程度走るイベントにする。	イベントの開催につきましては、自転車に関する機運醸成等において、重要なものであると認識しております。ご意見にあるポタリングのイベントを含め、交通安全に関するもの等様々なイベントの開催を検討してまいります。
30	10	(5) 近隣市(笠間市、小美玉市)との連携によるサイクルロードの充実	それぞれが抱える地域資源を有効に活用するため、近隣市との連携を視野に入れたイベントの開催について検討を進めてまいります。
31	10	「石岡りんりんまつり」などの名称を募り、老若男女が賑やかに集まる場所に育てる折々にイベントや大会を開き、サイクルショップの出展を依頼、修理点検等を行う	サイクリストだけでなく、老若男女が自転車に乗るきっかけにもなる取り組みの充実を図ってまいります。民間事業者等との連携を密にし、検討を進めていく必要があると認識しております。
32	10	⑤WEBの活用 サイクリストはインターネットとの親和性の高い人種だといわれています。コースガイドなどは紙媒体よりも、むしろWEB上のマップのほうが効果大。台風や凍結などの情報がいち早く更新され、市内での自転車関連のキャンペーンや、ツアーの告知などもネット上で展開。SNSの活用も重要。つねに更新できる人材・予算が必要です。	情報発信においてはインターネットの活用を積極的に進めてまいります。 SNSの活用につきましては、各関係団体等と連携を図りながら積極的な情報発信に努めてまいります。
33	10	⑧業界との連携 開通以来20年、いまや世界一のサイクリングコースと言われるまでに認知度を上げた瀬戸内しまなみ海道では、世界一の自転車工業国台湾のメーカーGIANTの協力を得ています。石岡市でも、各メーカーの試乗会や走行会を誘致するなど業界と上手に連携してPRを進めると、費用面においても効果的です。	民間事業者等と連携しながら市における自転車に対する機運の醸成に努めてまいります。